

# 2018年3月期 決算説明会

西華産業株式会社  
(東証1部 証券コード8061)

本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。  
また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。



1

Copyright©2018 SEIKA CORPORATION

皆様、こんにちは。  
4月に社長に就任いたしました櫻井でございます。

皆様方には、平素より西華産業にご関心をお寄せ頂き、  
また、決算説明会にご出席たまわりまして、誠にありがとうございます。  
でございます。

決算説明の前に、私より一言ご挨拶申し上げます。  
当社は、1947年の創業以来、長年に亘る皆様のご支援により、  
昨年10月に創立70周年を迎えることが出来ました。  
この場をお借りして厚く御礼申し上げます。  
近年、当社を取り巻くビジネス環境は目まぐるしく変化しており、  
また、これから厳しい事業環境に直面することもあるかと思っております。

当社は、社会がどの様に変化しようとも、社会に貢献する価値ある  
企業グループであり続けるため、経営資源の最適投入を図り、  
持続的な成長に繋げてまいり所存でございます。  
皆様より、引き続き変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう  
お願い申し上げます。

それでは、2018年3月期の決算説明を始めさせていただきます。

## 目次

1. 2018年3月期 連結決算概要
2. 2018年3月期 連結決算概要（セグメント別報告）
3. 2019年3月期 連結決算予想
4. 2019年3月期 連結決算予想（セグメント別予想）
5. 中期経営計画CS2020（初年度進捗状況）
6. 中期経営計画CS2020（2年目の取り組み）
7. トピックス
  - ・リチウムイオン電池用関連設備商談
  - ・中国電気自動車業界への深耕（今後の展開）
8. 西華産業の取り組み（ESG）
9. 西華産業の取り組み（株主還元）



Copyright©2018 SEIKA CORPORATION

2

本日の説明会は、  
連結決算、中期経営計画、トピックスなど  
ご覧の9項目につきまして、  
ご説明させていただきます。

## 2018年3月期 連結決算概要①

	2017年3月期	2018年2月 修正	2018年3月期	増減率
売上高	1,507億円	1,600億円	<b>1,655億円</b>	+9.8%
売上総利益	146.5億円	—	<b>145.8億円</b>	△0.5%
営業利益	30.4億円	22.0億円	<b>25.9億円</b>	△14.7%
経常利益	33.9億円	25.0億円	<b>28.7億円</b>	△15.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	21.4億円	15.0億円	<b>16.5億円</b>	△22.7%



3

Copyright©2018 SEIKA CORPORATION

まず始めに、2018年3月期の当社連結決算概要につきまして、ご説明いたします。

ご覧の通り、当社グループの業績は、

売上高は、1,655億円

売上総利益は、145億8千万円

営業利益は、25億9千万円

経常利益は、28億7千万円

親会社株主に帰属する当期純利益は、

16億5千万円

となりました。

詳細につきましては、次のスライドからご説明いたします。

## 2018年3月期 連結決算概要② (セグメント別報告)

	売上高		セグメント利益	
	2018年3月期	増減率	2018年3月期	増減率
電力事業	497億円	△12.4%	19.7億円	△5.0%
化学・エネルギー事業	248億円	△27.2%	6.9億円	△36.2%
産業機械事業	761億円	+65.7%	17.7億円	+25.5%
素材・計測事業	23億円	△30.9%	△2.0億円	△60.8%
グローバル事業	124億円	+19.6%	△0.9億円	△175.4%
合計	1,655億円	+9.8%	41.4億円	△9.3%



Copyright©2018 SEIKA CORPORATION

4

こちらには、セグメント別の売上高と利益を纏めております。

電力事業および化学・エネルギー事業につきましては、定期検査工事等の受渡が減少し、減収減益となりました。

産業機械事業につきましては、リチウムイオン電池用関連設備等の受渡が順調に推移し、増収増益となりました。

素材・計測事業につきましては、プリント基板素材の受渡減少、並びに関連子会社の業績低迷により、減収減益となりました。

最後に、グローバル事業につきましては、欧州・米国子会社の業績は順調に推移いたしましたが、中国子会社の繊維原材料取引による貸倒引当金繰入の影響や、タイのプリント基板製造・販売子会社の量産開始遅れの影響により、減益となりました。

なお、スライドには記載しておりませんが、当社グループの海外売上高は、259億4,500万円となり、当社グループ全体の売上高に占める割合が15.7%となりました。

## 2019年3月期 連結決算予想①

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	増加額	増減率
売上高	1,655億円	<b>1,750億円</b>	95.0億円	+5.7%
営業利益	25.9億円	<b>31.0億円</b>	5.1億円	+19.3%
経常利益	28.7億円	<b>34.0億円</b>	5.3億円	+18.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	16.5億円	<b>22.0億円</b>	5.5億円	+32.9%



5

Copyright©2018 SEIKA CORPORATION

続きまして、2019年3月期の連結決算予想につきましてご説明いたします。

当社を取り巻くビジネス環境につきましては、電力業界では原子力発電の再稼働遅れや、石炭火力発電に対する逆風があるものの、一般産業分野では中国における電気自動車化の加速や、働き方改革推進に伴う自動化設備の導入など、設備投資に明るさも見え始めており、業績に寄与する様、積極的に活動してまいります。

このようなビジネス環境のもと、通期の連結業績につきましては、ご覧の通り増収増益を見込んでおり、

売上高は、 1,750億円

営業利益は、 31億円

経常利益は、 34億円

当期純利益は 22億円を予想しております。

## 2019年3月期 連結決算予想② (セグメント別予想)

売上高予想	上期	下期	通期
電力事業	300億円	130億円	<b>430億円</b>
化学・エネルギー事業	390億円	170億円	<b>560億円</b>
産業機械事業	250億円	350億円	<b>600億円</b>
素材・計測事業	10億円	20億円	<b>30億円</b>
グローバル事業	50億円	80億円	<b>130億円</b>
合計	1,000億円	750億円	<b>1,750億円</b>



Copyright©2018 SEIKA CORPORATION

6

こちらには、セグメント別の売上高予想を纏めております。

ご覧の通り、通期といたしましては、

電力事業は、 430億円

化学・エネルギー事業は、 560億円

産業機械事業は、 600億円

素材・計測事業は、 30億円

グローバル事業は、 130億円

であり、合計1,750億円を予想しております。

## 2019年3月期 連結決算予想③ (セグメント別予想)

	売上高予想
電力事業	430億円
化学・エネルギー事業	560億円

### 電力事業

- 原子力発電の再稼働やテロ対策工事等に注力
- 北海道地区にも人材投入

### 化学・エネルギー事業

- 石油会社向けコークス発電設備約260億円の大口受渡を見込む
- バイオマス発電等再生可能エネルギー関連商談や海外向け化学プラント商談への取り組み



電力プラント



化学プラント



7

Copyright©2018 SEIKA CORPORATION

続きまして、各セグメント毎に2019年3月期の見通しをご説明いたします。

まず、当社コア事業の電力事業は、得意とする石炭火力発電が逆風の環境下にあります。原子力発電の再稼働やテロ対策工事などに、引き続き注力し、受注に努めてまいります。

また、今まで手薄でありました北海道地区にも、人材の投入を行い、電力事業の収益に繋げてまいります。

電力事業の売上高は前期より若干下がりますが、430億円を見込んでおり、安定的に業績が推移していくものと考えております。

続いて、化学・エネルギー事業ではありますが、  
現進行期は、石油会社向けコークス発電設備 約260億円の  
大口受渡を見込んでおり、前期より大幅に売上高が伸び、  
560億円を予想しております。  
また、バイオマス発電等 再生可能エネルギー関連商談や  
海外向け化学プラント商談に取り組んでおり、  
今後に期待しております。

## 2019年3月期 連結決算予想④ (セグメント別予想)

	売上高予想
産業機械事業	600億円
素材・計測事業	30億円



リチウムイオン電池



プリント基板



レーザー式ガス濃度計測装置

## 産業機械事業

- リチウムイオン電池用関連設備の売上約200億円を見込む
- 自動化設備商談等に積極的に取り組む

## 素材・計測事業

- プリント基板および各種計測機器の受渡や子会社の業績回復を見込む



8

Copyright©2018 SEIKA CORPORATION

次に、産業機械事業であります、  
通期で600億円の売上高を予想しております。

前期は、新電力会社向け発電設備 約260億円の大口受渡があり、760億円と大幅な売上増となりました。  
現進行期の売上高予想としては、前期のような発電設備の受渡がありませんが、リチウムイオン電池用関連設備の売上が100億円強増加し、約200億円を見込んでおります。  
また、その他の産業機械設備も前期並みであり、  
全体としては600億円を予想しております。  
前期売上高に近づけるべく、リチウムイオン電池用関連設備や自動化設備商談等に積極的に取り組んでまいります。

続いて、素材・計測事業につきましては、  
プリント基板および各種計測機器の受渡や、子会社の業績回復  
を見込んでおり、売上高30億円を予想しております。

## 2019年3月期 連結決算予想⑤ (セグメント別予想)

	売上高予想
グローバル事業	130億円

## グローバル事業

- 欧州、米国、タイの設備機器販売の子会社  
業績順調
- 中国子会社、タイのプリント基板製造・販売  
会社は収益回復の道筋見える



**Tsurumi (Europe) GmbH**  
水中ポンプ



**Seika Sangyo (Thailand) Co.,LTD**  
自動車・化学・繊維産業向け産業用機械



**Seika Sangyo GmbH**  
産業用機械・電子情報システム機器



Copyright©2018 SEIKA CORPORATION

9

最後に、グローバル事業につきまして、ご説明申し上げます。  
現進行期は前期並みの130億円の売上高を予想しております。

欧州、米国、タイの設備機器販売の子会社は、  
前期と同様に、業績は順調に推移するものと考えております。  
前期は中国子会社における業績不振や取引先の倒産による  
貸倒引当金の計上、タイのプリント基板製造・販売会社の  
量産開始遅れの影響がありました。  
両社とも、現進行期は大きな業績寄与までには至りませんが、  
収益回復の道筋も見えてきており、来期以降は、  
大いに期待できるものと考えております。

中期経営計画CS2020 初年度進捗状況			
	初年度		
親会社株主に帰属する 当期純利益	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
目標	22億円	24億円	27億円
実績	16.5億円		
現進行期 予想		22億円	



10  
Copyright©2018 SEIKA CORPORATION

続きまして、当社の中期経営計画CS2020の初年度進捗状況につきまして、ご説明いたします。

経営数値目標としましては、初年度は当期純利益22億円を目標としておりましたが、先程ご説明いたしました通り、16億5千万円の実績となりました。

目標未達の主な要因は、子会社の特損など一過性のものと考えております。

中計2年目にあたります現進行期は当期純利益 目標24億円に対し22億円の予想としております。

各セグメントとも、目標達成のため、施策をスピード感を以って、確実に実行してまいります。

## 中期経営計画CS2020 2年目の取り組み①

### ①新たなビジネスモデルの構築

- 名南共同エネルギー株式会社（愛知県知多市）営業開始
- I o T 関連やバイオマス燃料ビジネスのプロジェクト  
立上げ

### ②従来ビジネスの進化

- 電力事業：送電分野、海外市場への展開を開始
- 無停電電源装置（UPS）販売体制強化のため拠点設立



11

Copyright©2018 SEIKA CORPORATION

次に、中計2年目の全体戦略への取り組みにつきまして、ご説明いたします。

まず1つ目は、「新たなビジネスモデルの構築」であります。新規事業の1つとして、蒸気・電気の供給事業を目的に愛知県知多市に設立いたしました名南共同エネルギーは計画通り本年2月より営業開始いたしました。

また、現在、I o T 関連やバイオマス燃料ビジネスのプロジェクトを立ち上げました。

引き続き「事業領域の多様化」を推進していくため経営資源を積極的に成長分野に投入してまいります。

2つ目は、「従来ビジネスの進化」であります。

電力事業におきましては、従来の発電分野に加え、送電分野、海外市場への展開を開始いたしました。

また、産業機械事業におきましては、従来より販売してまいりました無停電電源装置（UPS）はデータセンター等に大きな需要が見込まれますので販売体制強化のため、本年6月に東広島にサービス拠点を設立する予定であります。

これからも、取り巻く事業環境に柔軟に対応し収益の拡大に繋げてまいります。

## 中期経営計画CS2020 2年目の取り組み②

### ③グループ経営・グローバル戦略の加速

- 関係会社戦略本部の設置
- 欧州・アジア地区に新たな拠点の設立検討

### ④人材育成および職場環境の充実

- 階層別研修制度および海外研修制度に注力
- 職場環境の充実



12

Copyright©2018 SEIKA CORPORATION

3つ目は、「グループ経営・グローバル戦略の加速」であります。昨年4月より関係会社戦略本部を設置し、国内外の関係会社の統括および支援体制を強化いたしました。

現進行期は 欧州およびアジア地区において、新たな拠点の設立等収益拡大に向けて検討を進めております。

これからもグループ各社の特色、強みを最大限に活かすと共に、シナジー効果を発揮し、グループ収益力の向上を目指してまいります。

4つ目は、「人材育成および職場環境の充実」であります。

変革と進化に対応し、国内外で活躍できる人材を育成するために、階層別研修制度および海外研修制度に注力してまいります。

また、社員が生き生きと働くことができる魅力溢れる職場環境の充実を図ってまいります。

トピックス  
リチウムイオン電池用関連設備商談

**売上高の推移**

	売上高
2016年3月期	22億円
2017年3月期	81億円
2018年3月期	89億円
2019年3月期（予想）	200億円



**主な取扱アイテム**

リチウムイオン電池の構成部品である  
セパレーターおよび正・負極材等の製造装置

SEIKA GROUP

SSC 西華産業株式会社  
SEIKA CORPORATION

Copyright©2018 SEIKA CORPORATION 13

それでは、ここから 当社のトピックスにつきまして、  
ご説明いたします。

皆様より高くご関心をいただいております中国向けリチウムイオン  
電池用関連設備の状況について、ご説明申し上げます。

2015年の取り組み開始から、主にリチウムイオン電池の  
構成部品でありますセパレーター、および正・負極材等の  
製造装置を中心に営業を展開してまいりました。

売上高はご覧のとおり

2016年 22億円

2017年 81億円

2018年 89億円と順調に推移し、

2019年には、200億円を見込んでおります。

トピックス  
中国電気自動車業界への深耕（今後の展開）

**取扱アイテムの広がり**

- 電池パック製造装置
- EV組み立て装置
- 各種原材料など

地方都市にも顧客拡大

●北京 ●蘇州 ●上海 ●合肥 ●重慶 ●成都 ●深セン

SEIKA GROUP

SSC 西華産業株式会社  
SEIKA CORPORATION

Copyright©2018 SEIKA CORPORATION 14

続きまして、中国電気自動車業界への深耕につきまして、ご説明いたします。

現在では、先ほどご説明いたしましたセパレーター、および正・負極材等の製造装置に加え、電池パック製造装置、EV組み立て装置、各種原材料等 取扱アイテムは広がりを見せております。

中国の電気自動車業界は、既に過剰な生産設備になっているとの報告もありますが、当社に寄せられる商談数は減少することなく、また、顧客も北京、上海、蘇州、深セン地区に加え、合肥、重慶、成都など地方都市にも拡大しております。

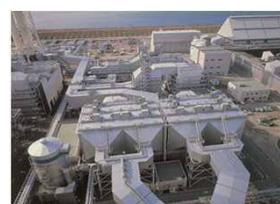
当社といたしましては、更なる人材投入を進め、引き続き積極的に中国電気自動車業界へ深耕し、収益拡大を実現させてまいります。

## 西華産業の取り組み（E S G）



### 環境型配慮商品の拡販 Environment

2018年3月期 環境配慮型商品 受注実績	受注件数	受注高
省エネ・省資源・高効率化	10,584件	685.4億円
公害防止	1,071件	64.1億円
リサイクル・リユース	542件	14.8億円
<b>合計</b>	<b>12,197件</b>	<b>764.4億円</b>



15

Copyright©2018 SEIKA CORPORATION

続きまして、当社の「E S G」の取り組みについて、ご説明いたします。

当社は、環境方針として「地球環境の保全と向上に努め、持続可能な社会の実現に貢献する」という基本理念を掲げております。

その一環として、2005年にISO14001を取得しており、環境配慮型商品の拡販に努めております。

当社取り扱いの環境配慮型商品は多岐に亘りますが、例えばボイラーおよび焼却炉用 排ガス処理設備や、化学・半導体工場向け有機溶剤回収装置などが挙げられます。

2018年3月期の受注実績は、約760億円となっております。

引き続き当社は企業活動を通じて、地球環境の保全に努め、社会に貢献してまいります。

## 西華産業の取り組み（ESG）



**社会責任（働き方改革） Social**



**女性の活躍推進**

女性総合職採用の強化 女性社員のキャリア形成支援 女性管理職の登用



**従業員の健康促進**

プレミアムフライデー制度の導入（取得率21%） 有給休暇の取得推進  
健康診断におけるがん検診（腫瘍マーカーオプション）費用の会社負担

**人材育成の取り組み**

各種階層別研修 海外研修派遣制度





**西華産業株式会社**  
SEIKA CORPORATION

16

Copyright©2018 SEIKA CORPORATION

続きまして、「社会責任」として、当社では働き方改革に取り組んでおります。

「女性の活躍推進」「従業員の健康促進」「人材育成」にテーマに掲げております。

具体的には

- ・ 女性総合職の採用強化
  - ・ プレミアムフライデー制度の導入
  - ・ 健康診断におけるがん検診費用の会社負担
- などがあります。

## 西華産業の取り組み（E S G）



ガバナンス Governance

### コーポレートガバナンス・コードに基づいた施策

**取締役会の実効性評価 実施**

**社長等選任審査委員会 設置**

**英語での情報提供**

招集通知の一部 FACT BOOK






**西華産業株式会社**  
SEIKA CORPORATION

17

Copyright©2018 SEIKA CORPORATION

E S Gの最後に、当社のガバナンスにつきまして、ご説明いたします。

当社のコーポレートガバナンス・コードにつきましては、全項目に対する取り組みをホームページで開示しております。昨年度は、「取締役会の実効性評価」を行うと共に、任意の仕組みとして社外取締役および社外監査役で構成される「社長等選任審査委員会」を取締役会のもとに設置いたしました。また、招集通知の一部英訳や、ファクトブック作成による英語での情報提供にも取り組みました。

当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値向上のために引き続きコーポレートガバナンスの充実を図ると共に、健全で透明性の高い経営体制を追求してまいります。

## 西華産業の取り組み（株主還元）

	中間	期末	合計
2017年3月期	0円	11円	11円
2018年3月期	※5円	30円	—
2019年3月期（予想）	25円	30円	<b>55円</b>

注）2017年10月1日を効力発生日として普通株式5株を1株とする株式併合を実施しております。2018年3月期中間配当（※）以前の実績につきましては、当該株式併合前の実績を掲載しております。



18

Copyright©2018 SEIKA CORPORATION

最後に、株主還元につきまして、ご説明いたします。

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとしており、安定的な配当をする事を基本方針としております。営業・財務両面にわたる効率的な業務運営により、経営基盤の強化を図るとともに、新しい事業の開発等の資金需要に対応しながら、連結配当性向35%を目途にいたしております。

ご覧の通り、2019年3月期の配当予想につきましては、中間配当25円に期末配当30円を加えた年間55円を予想しております。

配当方針および通期の業績等を総合的に勘案して積極的に株主還元に取り組んでまいります。

# ご清聴ありがとうございました

**将来の予測に関する注意事項：**

本資料にて開示されておりますデータおよび将来に関する予測につきましては、本日現在入手可能な情報に基づくものであり、予測不能、若しくは不確定な要因により、大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

**IRに関するお問い合わせ先**

**西華産業株式会社 経営企画本部 企画部**

**Tel : 03-5221-7117 Fax : 03-5221-7130**

**E-mail : SMB002@jp.seika.com**



以上をもちまして、2018年3月期の決算説明を終了させていただきます。

皆様、ご清聴、誠にありがとうございました。